

事務事業評価シート

(平成 24 年度実施事業)

事務事業名	岩手・玉山環境組合火葬場負担金			事業コード	1909
所属コード	152000	課等名	税務住民課	係名	生活環境グループ
課長名	村山 悦男	担当者名	松坂悦子	内線番号	4400-111
評価分類	☒ 一般 ☐ 公の施設 ☐ 大規模公共事業 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				

1 事務事業の基本情報・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	環境との共生	コード	6
	施策	生活環境の保全	コード	1
	基本事業	環境衛生の確保	コード	1
予算費目名	一般会計 4 款 1 項 5 目火葬場管理運営事業（001-01）			
特記事項				
事業期間	☐ 単年度 ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度		開始年度	昭和 56 年度
根拠法令等	墓地、埋葬等に関する法律第 4 条第 2 項、岩手・玉山環境組合同規約及び火葬場設置条例第 2 条			

(2) 事務事業の概要

岩手町及び盛岡市（玉山区に限る）で構成する岩手・玉山環境組合に対し、火葬施設の維持管理負担金を支出する。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

岩手町火葬場の老朽化に伴い、一部事務組合として火葬場が昭和 56 年に新設された。平成 18 年 1 月に玉山村が盛岡市と合併したことから、引き続き盛岡市が構成団体となっているものである。組合の運営費は構成市町が応分の負担をしている。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

建設から 30 年が経過し、火葬炉等の補修をしながら利用している。新市建設計画主要事業の平成 27 年度の整備事業となっている。

2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象（誰が，何が対象か）

市民等（施設利用者）

(2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	22 年度 実績	23 年度 実績	24 年度 計画	24 年度 実績	26 年度 見込み
A 火葬施設	箇所	1	1	1	1	1
B 玉山区人口	人	13,005	12,886	12,886	12727	12,727
C						

(3) 24 年度に実施した主な活動・手順

- ①組合構成市として，事務担当者会議等に参加し，組合の事業費について関係町と協議した。
- ②組合運営費に一部を負担した。
- ③定期保守点検，日常点検（通年），補修・修繕

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	22 年度 実績	23 年度 実績	24 年度 計画	24 年度 実績	26 年度 目標値
A 施設の補修，改修等実施箇所	カ所	6	8	4	4	7
B 日常点検回数	回	213	237	237	229	229
C						

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

遺族や関係者が火葬を滞りなく執り行うことができるように，施設の補修・改修を実施し，火葬施設としての機能を維持する。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	22 年度 実績	23 年度 実績	24 年度 計画	24 年度 実績	26 年度 目標値
A 火葬場の稼動状況	□上げる □下げる ■維持	日	203	213	237	229	229
B 補修・改修により改善した箇所	□上げる □下げる ■維持	カ所	6	8	4	4	7
C 火葬取扱件数	□上げる □下げる ■維持	件	378	383	383	370	370

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	22 年度実績	23 年度実績	24 年度計画	24 年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	5,159	5,550	7,351	7,351
	⑤その他()	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	0	0	0	0
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	120	120	120	120
	B 職員人件費 ⑥×4,000 円	千円	480	480	480	480
計	トータルコスト A+B	千円	5,639	6,030	7,831	7,831
備考						

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

① 施策体系との整合性

結びついている。（施設の適正な維持管理を行うことにより，利用者に円滑な施設利用を提供する。

② 市の関与の妥当性

法定事務であり妥当である。

③ 対象の妥当性

法定事務であり妥当である。

④ 廃止・休止の影響

法定事務であり，休止・廃止はできない。

(2) 有効性評価（成果の向上余地）

現施設は現状維持が妥当であり，向上余地がない。

(3) 公平性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

市が構成団体となっている一部事務組合が運営する施設であり，市民（玉山区）は無料，市民以外の利用者は有料となっている。

(4) 効率性評価

経費節減に努めているが、設備の維持管理に係る経費は、利用者へのサービス提供に直接関わることから、削減は難しい。

現時点において担当は1名であり、負担金の支払いや会議の出席時間等考慮すれば、人件費の削減はできない。

4 事務事業の改革案（Plan）

(1) 改革改善の方向性

現行どおりの一部事務組合方式により、維持管理の効率化を図っていく。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

組合や岩手町との共通認識を持ちながら、利用者へのサービス低下を招かないよう、計画的な補修・改修に係る予算措置を協議していく必要がある。

5 課長意見

(1) 今後の方向性

- ☐ 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- ☒ 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- ☐ 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

火葬場・斎場の老朽化が進んでいることから、新市建設計画に計上されている整備実施に向け、関係団体と協議を進める必要がある。